小倉園便り

令和3年　1月号

新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、今年のお正月は、例年と違った特別な過ごし方をされていることと存じますが、すこやかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年から様々な行事や活動が中止され、ご迷惑やご不便をかけているにもかかわらず、法人運営にご理解とご支援をいただいておりますこと、心より御礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、昨年１月に最初の患者が確認されてから４月には緊急事態宣言が発せられ終息の傾向にあったものの、８月には第２波にみまわれ、現在では第３波が続いている状況にあります。

法人の各施設では、集団発生を絶対起こしてはならないことから、「施設に持ち込まない」ことを念頭に、施設内の徹底した消毒や換気、加湿、検温やマスクの着用、施設外活動の自粛を行っているところであります。更には、保護者及び利用者の皆様に帰省や面会の自粛をお願いするなど、感染防止対策にご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。
この様な状況であっても利用者の皆様方には、施設外で活動できない分、色々なイベントを施設内で企画し､少しでも楽しい気持ちになってもらえるよう活動しており、皆さんはとても元気で活発に過ごしておられます。
また、待ち望んでいた２棟目のグループホーム花笑をつつじが丘に開設することができ、つわぶき授産工場の施設もリニューアルすることができました。

本年も保護者の皆様方の信頼に応えられるよう、利用者の皆様が安全に安心して施設を利用していただくために、施設の安全の確保や支援技術の向上に努め、支援信条を重んじ、サービスの質の向上に取り組んでまいります。
更に、社会福祉法人として地域福祉の向上のみならず地域の活性化に貢献できるよう、めまぐるしく変化する社会・経済の中で我々がすべきことを見定め、有意義な事業活動を展開してまいる所存でございます。

新しい年を迎えて、気持ちも新たに、より一層、知恵を出し汗を流し、障害者本人、支える家族、職員がともに幸せになれる社会をめざし、強い団結力を持ち「子を思う親の心」を胸に精進してまいりますので、皆様方の更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、世界中で新型コルナウイルス感染症のワクチン開発が進み、終息への希望が見えてまいりました。この１年が皆様方にとって輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人つわぶき会・哲人会
理事長　岩橋秀樹

年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
旧年中は、新型コロナウィルス感染予防の観点から、園外活動を自粛するなど、利用者の皆様に大変不自由をおかけし、心苦しく思う１年でありました。
そのような中で、少しでも気分転換に繋がるよう、徹底した感染対策を講じたうえで、園内バーベキューや四季の郷への見学などを開催したところでございます。
また、園内での活動が中心となった中で、和歌山県が主催する障害者作品展「紀ららアート展」に、利用者の皆さんが創作活動の時間を利用し作成した絵画と書道を出展し、どちらも「紀らら感動大賞」を受賞いたしました。利用者の皆さんが一生懸命頑張ってくれた成果と喜んでいる次第です。
新型コロナウィルスの終息が見えない中、一方でワクチンの開発も進み、わずかながら明るい兆しもあります。
丑年の今年も、利用者の皆様に更に充実した生活を送っていただくために、一歩一歩着実に物事を進めるよう職員一同頑張ってまいりますので、どうか変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人哲人会
小倉園　園長　髙倉理行

１月の予定

４日（月）年始会

２０日（水）懇談会・お誕生日会

２５日（月）～２８日（木）

買い物支援

クリスマス会

午前の部

小倉地区の代表者を招待して三蜜にならず、ソーシャルディスタンスをとりつつ行いました。

午後の部

ビンゴ大会・新人職員のパフォーマンスで皆さん　笑顔がいっぱいでした。

12月のお誕生日会

今月は男性１名でした。

絵が得意で、似顔絵を

素敵に書いてくれました。

やきいも　おいしい！

みんなで植えて　収穫したさつまいも　とっても美味しかったよ「(๑'ڡ'๑)」

新年　おめでとうございます。
昨年は、コロナウイルスの世界的流行によって生活様式が大きく
変化し、利用者の皆様にもたくさんの規制がかかった１年でした。
今年は、利用者の皆様の希望に沿った生活を過ごし
笑顔溢れる毎日になるといいなと思っています。
本年もよろしくお願いします。

作成担当者
副主任　宮村三美